

次期「あいち はぐみんプラン」の概要について

概要（特徴）

1 プランの名称
 「あいち はぐみんプラン 2015-2019
 ～日本一子育てしやすいあいちの実現をめざして～」

2 プランの位置付け
 「少子化対策推進基本計画」から「子ども・子育てに関する総合計画」へ
 ⇒子ども子育てに関する課題は相互に関連していることから、様々な分野の支援を一体的に行うことで解決を目指す。
 <一体的に策定する計画>
 ○幼児教育・保育の確保を中心とした子育て支援の充実を図る「**子ども・子育て支援事業支援計画**」
 ○子どもの貧困の改善を図る「**子どもの貧困対策推進計画**」
 ○虐待の予防と早期発見・早期対応を進める「**児童虐待防止基本計画**」

3 重点的な取組
一体的に策定する計画では、新たな取組・拡充を進める。
 ○子育て支援の充実
 ★待機児童の解消・多様な保育サービスの充実
 ★放課後児童クラブ・放課後子供教室の整備
 ○子どもの貧困の改善
 ★学校を窓口とした福祉関連機関との連携
 ○虐待の予防と早期発見・早期対応
 ★妊娠期からの虐待予防対策
社会情勢を踏まえ、更なる取組を進める。
 ○ワーク・ライフ・バランスの推進
 ★「イクメン」を応援する職場環境づくりの促進
 ★地域での「イクメン」の養成支援
 ○結婚支援
 ★企業等と連携した出会いの機会の提供

4 「各主体に求められる責務」の新設
 子ども・子育てに関する課題を解決するためには、県、県民、企業、市町村、地域社会が一体となり、社会全体で子育て支援に取り組むことが重要である。
 「各主体に求められる責務」を新たに設け、それぞれの立場で子育て支援に取り組む姿勢を明確にする。

5 記載内容の見直し
 ○**フォローアップできる記載方法**
 「子ども・子育てに関する課題と取組」において、「現状と課題」に対応する「取組の方向性」を新たに設けるとともに、「今後の取組」を具体的に記載し、フォローアップできる記載方法に見直す。
 ○**数値目標**
 基本施策ごとに数値目標を設定し、「5年後のあいちの姿」として位置付ける。
【記載項目】

<今までの計画> ○現状と課題 ○今後の展開方法 ○重点チェック項目（数値目標）	➔	<新たな計画> ○現状と課題 ○取組の方向性 ○今後の取組 ※実施主体を明確化 ○5年後のあいちの姿（数値目標）
---	---	---

○**市町村等の先進事例の紹介**
 市町村等の先進事例を紹介し、県内で広く取組が行われるよう後押しする。

6 プランの進捗管理
 制度や社会情勢の変化等を踏まえ、愛知県子ども・子育て会議（愛知県社会福祉審議会児童福祉専門分科会）を活用し、プランの継続的な点検・評価・見直しを行っていく。（P D C Aサイクルを回していく。）